

安全データシート(SDS)

製品名 : A-23 消泡剤

1. 化学品及び会社情報

製品名	消泡剤
製品コード	A-23
提供者	アネスト岩田株式会社 営業本部 / 国内営業部
住所	〒223-8501 神奈川県横浜市港北区新吉田町 3176 番地
連絡先	電話番号 045-591-8001 FAX 番号 045-590-1172
緊急連絡先	アネスト岩田株式会社 コーティング事業部 コーティングシステム部 装置技術開発グループ 電話番号 045-591-1119 FAX 番号 045-591-1137

2. 危険有害性の要約

化学品 GHS 分類 : [区分]
引火性液体 区分に該当しない (区分外)

GHS ラベル要素

絵表示 : 非該当
注意喚起語 : 非該当
危険有害性情報 : 該当しない

注意書き :

安全対策 取扱い後は必要に応じて手洗い, うがい等を行うこと。
誤飲, 接触, 吸入等をしていない様に, 必要に応じて保護具
(マスク・手袋・保護衣等) を着用すること。

応急措置 火災の場合には, 泡, 炭酸ガス, 粉末, 霧状強化液,
乾燥砂等を使用すること。

保管 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄 関係法令・条例等に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
成分及び濃度又は濃度範囲

成分名称	含有量 wt. %	CAS RN	安衛法	化管法	毒劇法
			通知物質	指定物質	毒物劇物
鉱油	70~80	---	該当	非該当	非該当
界面活性剤	20~30	---	非該当	非該当	非該当
シリカ	1~10	---	該当	非該当	非該当
ステアリン酸マグネシウム	1~10	---	該当	非該当	非該当

安全データシート(SDS)

製品名：A-23 消泡剤

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 気分が悪くなった場合、空気の新鮮な場所で呼吸しやすい姿勢で休息させる。症状が改善しない場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 付着物を布・紙類等で拭き取ること。
必要に応じて、皮膚を流水・シャワー等で洗うこと。
必要に応じて、医師に必要に応じて医師に連絡すること。
- 眼に入った場合 : 必用に応じて、水で数分間深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗淨すること。
必用に応じて、医師の診断、手当を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 必要に応じて、気分が悪くなった時は医師に連絡し、診断、手当を受ける。
必要に応じて、口をすすぐこと。
- 応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 「第8項ばく暴露防止及び保護処置」に記載の保護具を着用すること。
ガス、蒸気、ミスト、粉塵等が存在する時には、換気を行うこと。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 泡, 炭酸ガス, 粉末, 霧状強化液, 乾燥砂等
- 使ってはならない消火剤 : 水(棒状水, 高圧水), 棒状強化液
- 火災時の特有の危険有害性 : 情報なし
- 消火を行う者の保護 : 情報なし

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際には「第8項ばく露防止及び保護措置」で規定する保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスや粉塵、ヒュームの吸入を避けること。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外近づけないようにして二次害を防止すること。
屋内の場合、換気をよくして、ガス、蒸気、ミスト、粉塵などの吸入を避けること。
屋外の場合、風上から作業し、風下の人を待避させること。
- 環境に対する注意事項 : 排水処理設備を有する場合は、排水処理の責任者に連絡して漏出した製品を多量に含む排水が環境中へ排出されない様に対策を講じること。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移すこと。
付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置すること。
衝撃、静電気で火花が発生しないような材料の用具を用いて回収すること。
少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸収させ取り除いた後、残りをウエス、ぞうきん等でよく拭き取る。

安全データシート(SDS)

製品名：A-23 消泡剤

- 二次災害の防止策
- ： 大量の場合は、土砂等で囲って流出を防止し、スコップ又は吸引器などで空容器に回収する。
 - ： 回収した製品は密閉できる容器に回収する。
 - ： 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外近づけないようにして二次災害を防止すること。
 - ： 関係部署（安全・衛生・環境・防災等）に連絡し、適切な対策を講じること。
 - ： 着火した場合に備えて、適切な消火器（「第5項. 火災時の措置」で規定する消火剤を備えるもの）を準備すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ： 炎及び高温のものから遠ざけること。ー禁煙。
- ： 容器を転倒、落下、衝撃を加える、又は引きずる等の取扱いをしないこと。
- ： 取扱いの条件（使用量・使用条件等）に応じて、防爆型の設備を使用する。
- ： 引火性の蒸気が滞留しないように、排気装置を設けること。
- ： 取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれな設備とすること。
- ： 取扱いに際しては、「第8項. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策（排気、換気）を行い保護具を着用する等のばく露防止対策を講じること。
- ： 作業場の換気を十分に行うこと。

局所排気・全体換気

- ： 取扱いに際しては、「第8項. ばく露防止及び保護措置」に記載の換気設備対策を行うこと。

安全取扱注意事項

- ： 本安全データシート（SDS）を用いてリスク評価を行い、評価結果に基づき、適切な取り扱い方法を決め、遵守すること。
- ： 取扱い後、付着があれば手、顔等を洗うこと。
- ： 休憩所や飲食スペース等には使用した保護具を持ち込まない様にする。

接触回避

- ： 10. 安定性及び反応性の混触危険物質を参照すること。

安全な保管条件

- ： 引火性製品なので、酸化性物質と一緒に保管しないこと。
- ： 消防法の定めに従い、類を異にする危険物を同一の貯蔵所に保管しないこと。
- ： 危険物の規制に関する政令・危険物の規制に関する規則の定めに従って保管すること。

安全な容器包装材料

- ： 容器を移し替えた時は、新たな容器にも法令の定めに従った表示を行うこと。
- ： 「危険物の規制に関する規則」で定める基準に適合する容器を使用すること。
- ： 製品容器又はそれに代わる十分な強度を有する容器を使用する

安全データシート(SDS)

製品名 : A-23 消泡剤

こと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策等

: 許容濃度が設定されている成分を含むので、換気設備を設けるなどして、十分な換気を行い、許容濃度以下に保つようにすること。
作業場の近くには手洗い、洗顔の設備を設け、取扱い後には手、顔を洗うようにすること。

管理濃度および許容濃度

成分名称	厚生労働省労働安全衛生法作業環境測定基準	日本産業衛生学会	ACGIH	
	管理濃度	許容濃度	TWA	STEL/C
鉱油	---	3mg/m ³ as mist	5mg/m ³ as mist	---
ステアリン酸マグネシウム	---	---	3mg/m ³ Respirable particulate matter, 10mg/m ³ Inhalable particulate matter	---

保護具

呼吸器用保護具

: 適切な呼吸用のマスクを着用すること。

手の保護具

: 必要に応じて、薬剤を透過、浸透しない様な保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具

: 必要に応じて適切な保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

: 参考：保護具のJIS（日本工業規格）としては、以下の様なものがあり、選定の参考にすることができる。

呼吸用保護具：JIS T 8151(防じんマスク),

JIS T 8152(防毒マスク)

JIS T 8153(送気マスク)

JIS T 8155(空気呼吸器)

JIS T 8156(酸素発生形循環式呼吸器)

JIS T 8157(電動ファン付き呼吸用保護具)

手の保護具 : JIS T 8116(化学防護手袋)

眼の保護具 : JIS T 8147(保護めがね)

皮膚及び身体の保護具

: JIS T 8115(化学防護服),

JIS T 8117(化学防護長靴)

9. 物理的及び化学的性質

製品

外観 物理的状态

: 液体

色

: 褐色

安全データシート(SDS)

製品名 : A-23 消泡剤

臭い	: あり
臭いのしきい (閾) 値	: データなし
融点/凝固点	: データなし
融点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
引火点	: 198°C
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
PH	: 7~8 (5%)
動粘度率	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
比重 (密度 g/cm ³)	: 0.81-1.01 (25°C)
相対ガス密度	: データなし
蒸発速度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし
化学的安定性	: 通常の取扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 情報なし
混触危険物質	: 酸化性物質
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報

製品

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 分類できない(気体) 分類できない(蒸気) 分類できない(蒸粉塵・ミスト)
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 分類できない

安全データシート(SDS)

製品名 : A-23 消泡剤

特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない
その他の情報	: データなし。

成分

鉱油

急性毒性（経口）	: 分類できない
急性毒性（経皮）	: 分類できない
急性毒性（吸入）	: 区分に該当しない（分類対象外）（気体） 区分に該当しない（分類対象外）（蒸気） 区分に該当しない（分類対象外）（粉塵・ミスト）
皮膚腐食性／刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 区分に該当しない（区分外）
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 分類できない
誤えん有害性	: 区分1

シリカ

急性毒性（経口）	: 区分に該当しない（区分外） LD50: 3160 mg/kg[ラット]
急性毒性（経皮）	: 分類できない
急性毒性（吸入）	: 区分に該当しない（分類対象外）（気体） 区分に該当しない（分類対象外）（蒸気） 区分に該当しない（分類対象外）（粉塵・ミスト）
皮膚腐食性／刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない

安全データシート(SDS)

製品名 : A-23 消泡剤

ステアリン酸マグネシウム

急性毒性（経口）	: 分類できない 動物への影響：データなし。
急性毒性（経皮）	: 分類できない 動物への影響：データなし。
急性毒性（吸入）	: 区分に該当しない（分類対象外）（気体） 分類できない(蒸気) 分類できない(粉塵・ミスト) 動物への影響：データなし。
皮膚腐食性／刺激性	: 区分3 人への影響：ヒトで皮膚刺激性の可能性が記載されている（ACGIH（2001））ことに基づき、区分3とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 区分2B 人への影響：ヒトで眼刺激性の可能性が記載されている（ACGIH（2001））ことに基づき、区分2Bとした。
呼吸器感作性	: 分類できない 人への影響：データなし。
皮膚感作性	: 分類できない 人への影響：データなし。
生殖細胞変異原性	: 分類できない 症状:分類できない。 in vivoの変異原性試験結果がなく, in vitro試験で複数指標に対する陽性結果がないことに基づき, 分類できないとした。
発がん性	: 分類できない ACGIH:A4
生殖毒性	: 分類できない 所見(症状) データなし。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 分類できない データなし。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 分類できない 情報不足のため分類できない。
誤えん有害性	: 分類できない 人への影響：データなし。

12. 環境影響情報

製品

生態毒性	
急性毒性	: 分類できない
慢性毒性	: 分類できない

安全データシート(SDS)

製品名 : A-23 消泡剤

残留性・分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壌中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 分類できない
他の有害影響	: 情報なし

成分

データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

: 排水処理, 焼却処理などにより生じた残渣物などについても、廃棄物の処理と清掃に関する法律及び関連法令に準じて処理を行うか、委託すること。

廃棄処理を委託処理する際は、許可を受けた廃棄物処分量と委託契約を結びマニフェストを添付して依頼すること。

リサイクル容器は内部に何も入れず、栓をしてそのまま返却すること。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

: 容器に漏れないことを確かめ、転倒, 落下, 損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

「第7項. 取扱い及び保管上の注意」の記載に従うこと。

消防法, 毒劇法, 火薬類取締法, 高圧ガス保安法等に該当する場合には、それぞれの法令に定められた方法に従うこと。

本製品は原則として日本国内向けであり、船舶または航空機による輸送は想定されておりません。船舶または航空機による輸送が必要になった場合には、別途お問い合わせ下さい。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

陸上輸送 : 道路法令の通行禁止・制限に関する規定を遵守すること。

: 所定の材質の容器に所定の収納率以下で収納すること。

危険物・指定可燃物を輸送する際には、

できる限りイエローカードを携行すること。

海上輸送 : 船舶安全法の定める所に従うこと。

航空輸送 : 航空法の定める所に従うこと。

15. 適用法令

消防法 : 危険物 第4類 第3石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ
指定数量 : 2000L [火気厳禁]

毒物及び劇物取締法 : 非該当

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物
(鉱油, シリカ, ステアリン酸マグネシウム),

安全データシート(SDS)

製品名 : A-23 消泡剤

名称等を通知すべき危険物及び有害物
(鉱油, シリカ, ステアリン酸マグネシウム)

化学物質排出把握管理促進法 : 非該当
(PRTR 法)

16. その他の情報

作成日 : 2001年 6月 1日

改定日 : 2022年 5月 24日

注意事項 : 本データシートは作成時点の当社の知見に基づき危険有害性伝達の目的で作成しており、製品規格や物理化学的性質の値、危険・有害性の完全性・正確性を保証するものではありません。

取扱注意事項等は通常の手扱いを対象としており、特別な手扱いや他の物質との混合を行う場合等には、別途状況に応じた安全対策を講じてください。

全ての化学品には未知の危険・有害性があり得るため、手扱いには細心の注意を払い、ご使用各位の責任に於いて安全な使用条件を設定の上でご使用下さるようお願い申し上げます。

本データシートは、日本国内法令・JIS・日本化学工業協会のSDS作成指針に従って作成しており、日本国外での使用や輸送を想定したものではありませんのでご注意ください。

第2項に記載していないGHS分類(危険有害性)は、「分類対象外」又は「分類できない」に該当します。

参考文献等 : GHS分類結果データベース 独立行政法人 製品評価技術基盤機構HP
GHSモデルSDS情報 中央労働災害防止協会HP
J-GLOBAL HP
LOLI Database (UL Verification Services Inc.)
JIS Z 7253 (2019)
原料メーカー発行SDS